

## 執筆者紹介

あさだ	とういちろう	中央大学経済学部教授
浅田	統一郎	
かたおか	ごうし	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社主任研究員
片岡	剛士	
くろき	りゅうぞう	立教大学経済学部教授
黒木	龍三	
のした	やすとし	国士舘大学政経学部教授
野下	保利	
のぐち	あさひ	本学経済学部教授
野口	旭	

## 〈編集後記〉

『専修大学社会科学研究所月報』第 595（2013 年 1 月）号をお届けします。今号は、「＜研究会報告＞日本の長期不況とマクロ経済政策——吉川洋・小野善康両氏の見解を踏まえて」と題した、浅田統一郎・片岡剛士・黒木龍三・野下保利・野口旭の各氏によるシンポジウム（2012 年 6 月 16 日）の記録です。昨秋の自民党総裁選から昨年末の衆議院選挙をへて自民党・安倍政権への交替の過程で、“アベノミックス”というかたちで、いわゆるインフレ・ターゲット論が注目を浴びている中で、今号の刊行は実にタイムリーなものとなったようです。いわゆるリフレ派の主張にしろ、それに対して批判的な側の主張にしろ、学術的な世界だけではなくメディアにおいてもさまざまな議論が賑わっています。それを見るに付けても、1990 年代のバブル崩壊直後の頃や、2000 年代前半の不良債権処理問題の頃に比べると、金融政策をめぐる一般の理解の水準に一皮も二皮も剥けたところがあるように感じられるのは私だけでしょうか。（N.S.）

---

2013 年 1 月 20 日発行

神奈川県川崎市多摩区東三田 2 丁目 1 番 1 号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

（発行者）町田俊彦

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前 2-10-2 電話 (03)3404-2561

---